※令和４年度以降入学生用

学校番号	1208

令和５年度　公民科

教科	公民	科目	基礎社会	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	なし						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

基礎社会では、小・中の地理・歴史・公民の内容について豊富な資料を使い、コミュニケーションを大切ににしながら主体的に学びます。しっかりと社会科の基礎を固め、次年度の高校の学習内容に繋げられるようにします。また、自分の考えを表現し、周囲の考えを知る機会を多く設け、基礎的な「歴史的思考力」や「地理的な見方・考え方」などを身につけることができるようにめざします。

２　学習の到達目標

【a:知識及び技能】
・中学社会までの基本的な知識の定着をめざす。
【b:思考力、判断力、表現力等】
・授業を通して、自分の考えを表現し、発展的な歴史、地理を学ぶための基礎的な「歴史的思考力」や「地理的な見方・考え方」を培う。
【c 学びに向かう力、人間性等:】
・よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとする態度を身につける。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	選択・判断の手がかりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。 現代世界の地域的特色と日本及び世界の歴史の展開に関して理解しているとともに、調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。	現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的･多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。 地理や歴史に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したり、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。 地理や歴史に関わる諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に解決しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	地理的分野	・地図の見方 ・大阪の地理 ・日本の地理	a:日本と世界の地図に触れ、大阪府内・日本・世界の基本的な自然環境や産業が理解できる。 b:地理的な見方や考え方を通し、現代社会が抱える諸課題について考え、自分の意見を表現することができる。 c:地理的分野の知識の必要性を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
2学期	歴史的分野	日本と世界の歴史 ・古代史 ・中世史 ・近世史 ・近代史 ・近現代史	a:日本や世界の歴史について、基本的な流れが理解できる。 b:歴史的な思考・判断を通し、過去から現代へつながる諸課題について考え、自分の意見を表現することができる。 c:歴史的分野の知識の必要性を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物
3学期	公民分野	・民主主義について ・参政権について ・経済活動について ・三権分立について ・平和主義について	a:日本国憲法を中心に日本の国の仕組みを理解し、社会人として必要な資質を身につけている。 b: 公民として民主的、平和的な国家・社会を作るため、現代の様々な諸課題について考え、自分の意見を表現することができる。 c:公民分野の知識の必要性を理解し、主体的に学習に取り組むことができる。	定期考査	定期考査 提出物	提出物

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度